

平成 30 年度 事業報告

はじめに

横浜港振興協会は、「ミナト町ヨコハマの振興・発展」を推進する役割を担うために、役職員一丸となって横浜港の港湾振興策を次のとおり推進しました。

市民を対象とした「横浜港見学会」等の各種事業により、多くの方々に横浜港を理解して頂き、市民にとっての港がより身近で愛着のあるものとなるよう取組を推進しました。5月に「横浜港カッターレース」、7月には「スパークリングトワイライト」やみなと祭関連行事である「優良海事関係者表彰式」、「港内見学会」などの事業を実施しました。

また、客船の寄港促進を図るため誘致活動を推進し、客船寄港時の歓迎行事を実施するとともに、客船等の配船調整業務や、岸壁の運營業務を行いました。

横浜港の施設の管理運營業務としては、大さん橋国際客船ターミナル、八景島マリーナ・駐車場の運営に携わり、中でも大さん橋国際客船ターミナル指定管理業務については積極的にイベントを展開するなどし、330万人を超える来場者がありました。

当協会の役割を推進するため、今後ともより効率的で効果的な業務執行に努めてまいります。なお、当協会の各事業の詳細につきましては、以下に記載したとおりです。

1 会勢 (平成 31 年 3 月 31 日現在)

(1) 会員総数 515 社 839 口

平成 30 年度増減数

4 社増 1 口増 (入会 12 社 13 口、退会 8 社 10 口、口数変更 1 社 2 口減)

(2) 役員

会長	1 人
副会長	4 人
専務理事	1 人
常務理事	2 人
理事	48 人
監事	2 人 (以上 計 58 人)

(3) 職員

事務局長	1 人
本部	16 人
大さん橋客船ターミナル事務所	6 人
八景島事務所	3 人 (以上 計 26 人)

2 会議等の開催

(1) 理事会・総会の開催

ア 第 189 回理事会 平成 30 年 5 月 24 日

第 67 回通常総会提出議案、新規入会会員について承認されました。

イ 第 67 回通常総会 平成 30 年 5 月 24 日

平成 29 年度事業報告・決算、平成 30 年度事業計画・予算、定款の一部変更、役員の補充選任について承認されました。また、協会の愛称として「POP ヨコハマ」が発表されました。

ウ 第 190 回理事会 平成 30 年 5 月 24 日

副会長、常務理事の補充選任について承認されました。

エ 第 191 回理事会 平成 31 年 3 月 27 日

平成 31 年度事業計画、予算、船舶購入引当資産の一部取崩しについて承認されました。

(2) 横浜港振興協会拡大交流会の開催

会員、役員、総代、個人会員等の交流を図るため交流会を開催しました。

開催日 平成 30 年 10 月 15 日

場所 大さん橋国際客船ターミナル「大さん橋ホール」

出席者 約 300 人

(3) 平成30年度新入社員等研修会の開催

会員店社の新入社員等を対象に、横浜港に関する 2 つの講義「横浜港の概要（講師：横浜市港湾局物流運営課課長補佐担当係長 山本智 氏）」、「横浜開港と交通の発達（講師：横浜開港資料館・横浜都市発展記念館館長 西川武臣 氏）」及び貸切バスでの大黒ふ頭等の見学、船による海上からの港内見学を行いました。

開催日 平成30年 5 月 30 日

場所 波止場会館等

出席者 57人

(4) その他（横浜経済 7 団体共催事業）

平成 30 年叙勲・褒章・大臣表彰・神奈川県県民功労者表彰・横浜文化賞 受賞祝賀会

開催日 平成 30 年 11 月 26 日

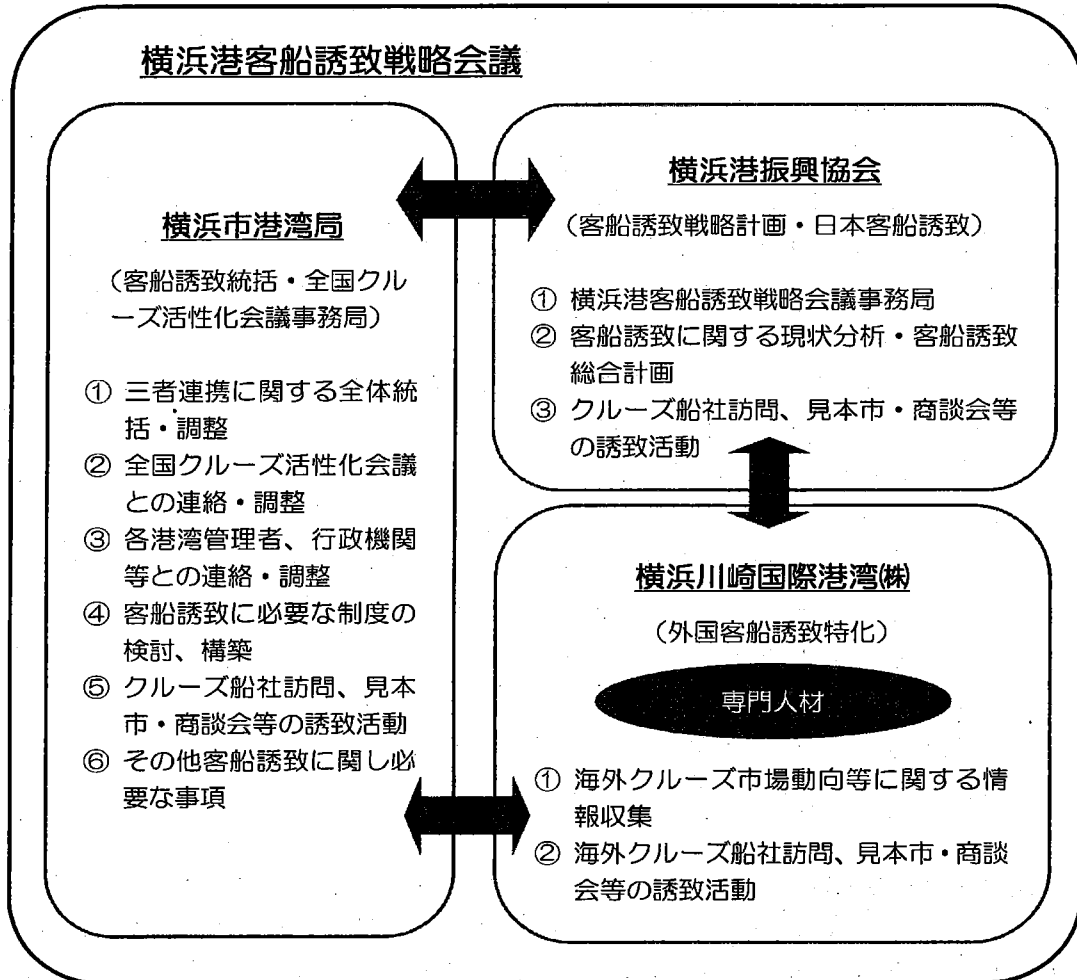
3 港湾関係道路網の整備促進活動の推進

横浜港と背後圏とのアクセスを強化し、物流円滑化を図るため、横浜市幹線道路網建設促進協議会の構成団体の一員として、横浜環状道路の整備促進を働きかけました。

4 船舶・貨物誘致活動の推進

(1) 横浜港客船誘致事業

横浜市港湾局、横浜川崎国際港湾株式会社と横浜港振興協会の3社間にて横浜港客船誘致戦略会議を立ち上げ、横浜港への客船誘致を行いました。横浜港客船誘致戦略会議の役割分担は以下の図のとおりです。



(2) 客船寄港促進事業

外国船は「オーシャン・ドリーム」「アマデア」「ノーティカ」「ノルウェージャン・ジュエル」「フォーレンドム」「ダイヤモンド・プリンセス」「セレブリティ・ミレニウム」「スター・レジェンド」「ゴールデン・プリンセス」「MSC スプレディダ」「コスタ・ネオロマンチカ」「クァンタム・オブ・ザ・シーズ」「コーラル・プリンセス」「ウエステルダム」「アムステルダム」の15隻が入港し、日本船は「飛鳥II」「にっぽん丸」「ぱしふいっくびいなす」の3隻の寄港があり、多数の歓迎行事を行いました。2018年の客船寄港実績は計168回(日本客船98回、外国客船70回)で、うち大黒ふ頭11回(MSC スプレディダ9回、クァンタム・オブ・ザ・シーズ2回) 山下ふ頭3回(ノルウェージャン・ジュエル、にっぽん丸、スーパースター・ヴァーゴ)でした。

主な歓送迎行事

- ア ノルウェージャンジュエル (93,502 トン) 平成 30 年 4 月 1 日
イ フォーレンダム (61,214 トン) 平成 30 年 4 月 11 日
ウ ダイヤモンド・プリンセス (116,000 トン) 平成 30 年 4 月 13 日
エ セレブリティ・ミレニアム (91,000 トン) 平成 30 年 4 月 15 日
オ スターレジェンド (9,961 トン) 平成 30 年 4 月 14 日
カ ゴールデン・プリンセス (108,865 トン) 平成 30 年 4 月 27 日
キ コスタ・ネオロマンチカ (57,150 トン) 平成 30 年 5 月 27 日
ク アムステルダム (62,735 トン) 平成 30 年 10 月 17 日
ケ コロンバス (63,786 トン) 平成 31 年 3 月 12 日
コ アルバトロス (28,518 トン) 平成 31 年 3 月 23 日
サ クァンタム・オブ・ザ・シーズ (168,666 トン) 平成 31 年 3 月 25 日
シ 飛鳥Ⅱ (50,142 トン)
平成 30 年 7 月 4 日 2018 年世界一周クルーズ帰港
平成 31 年 1 月 28 日 オセアニアグランドクルーズ
ス にっぽん丸 (22,472 トン)
平成 30 年 4 月 26 日 ゴールデンウィーク日本一周クルーズ
平成 31 年 1 月 28 日 内閣府シップ・フォー・ワールド・ユース・リーダーズ
平成 31 年 3 月 10 日 にっぽん丸 ネイチャークルーズ～鳥島周遊～
セ ばしふいっくびいなす (26,594 トン)
平成 30 年 4 月 1 日 表敬訪問
平成 30 年 8 月 16 日 熊野大花火と南紀クルーズ
平成 30 年 10 月 12 日 秋の日本一周クルーズ

(3) 横浜港初入港船歓迎サービス業務

横浜港の振興宣伝策のひとつとして、横浜港に初入港する船舶に横浜港シンボルマーク入り楯などの贈呈や初入港歓迎セレモニーを実施しました。

楯の贈呈数 109 件、押絵の贈呈数 14 件

初入港歓迎訪船の実施

一般貨物船	「KYOWA FALCON」	平成 30 年 5 月 9 日	大黒ふ頭
フルコンテナ船	「CMA CGM HYDRA」	平成 30 年 6 月 22 日	本牧ふ頭
コンテナ船	「ながら」	平成 30 年 7 月 18 日	南本牧ふ頭
フルコンテナ船	「PRESIDENT KENNEDY」	平成 30 年 7 月 21 日	本牧ふ頭
一般貨物船	「KYOWA STORK」	平成 30 年 8 月 15 日	大黒ふ頭

5 地域連携事業

- (1) 地域連携事業を推進するため、協会内に地域連携担当部署を設置し活動しました。
- (2) 近隣の商店街や町内会、青少年団体など（陸援隊）との意見交換会を平成 31 年 2 月 19 日に開催しました。
- (3) 横浜市が募集した都心臨海部の「まちを楽しむ多彩な交通の充実」に関して、6 団体の代表として、提案内容の実現に向けて、市と協議を進めました。
- (4) クルーズを通じた地域連携による市内経済活性化促進業務を横浜市から受託し、観船客のアンケートや、国内外の先進、成功事例の調査、検証などを行いました。

6 市民と港を結ぶ事業の推進

(1) 共催事業

ア 横浜港見学会の実施

市民に広く横浜港を理解し、親しんでもらうため、港湾局、横浜港埠頭株式会社、横浜川崎国際港湾株式会社と連携し、横浜港内の周遊やコンテナターミナルなどの港湾施設の見学会を実施しました。

コース及び参加人数等

- | | | |
|-------------------------|-------|---------|
| (ア) マリンシャトル乗船コース | 239 回 | 9,801 人 |
| (イ) 港湾施設見学コース | 16 回 | 415 人 |
| (ウ) マリンシャトル乗船・港湾施設見学コース | 97 回 | 2,263 人 |
| (エ) チャーター船による乗船コース | 1 回 | 61 人 |

イ 横浜港出前講座の開催

横浜港や港に関係することなどをテーマに、講師を派遣し講座を開設することにより、市民の横浜港に対する理解や関心を深めるとともに、港との結びつきを強化するため、出前講座を行いました。

実施回数 15回

受講者数 527人

ウ 区民まつりや各種イベントでの PR

(ア) 区民まつり等への出店

区民まつり等の各区のイベントに出店し、パネル展示や港に関するゲーム等を実施することにより、市民と港を結び付ける活動を行いました。

①ふるさと港北ふれあいまつり

平成 30 年 10 月 20 日 新横浜駅前公園少年野球場

②栄区民まつり

平成 30 年 11 月 3 日 本郷中学校グラウンド

③港南区健康ランニング大会

平成 31 年 1 月 13 日 野庭中学校グラウンド

④南区桜まつり

平成 31 年 3 月 31 日 蒔田公園

(イ) 海洋都市横浜うみ博 2018 への出店

大さん橋ホールで開催された「うみ博 2018」に出店し、広く来場者に横浜の海や港に親しみをもって頂けるように、協会事業の PR 等を行いました。

開催日 平成 30 年 7 月 21 日、22 日

場所 横浜港大さん橋国際客船ターミナル 大さん橋ホール

エ 横浜港理解促進事業 提案型事業の実施

平成 30 年（2018 年）はタグボート乗船体験会を実施しました。

開催日 平成 30 年 5 月 16 日、23 日

参加者 37 人

オ 横浜港客船フォトコンテスト 2018 の開催

横浜港やクルーズ客船の魅力を多くの方に知っていただくため、港湾局と連携し横浜港に寄港する国内外の客船を被写体としたフォトコンテストを開催しました。

応募期間 平成 30 年 9 月 1 日～9 月 18 日

テーマ 横浜港とクルーズ客船

応募総数 270 作品

入賞数 14 作品

(2) 実行委員会の事務局として実施した事業

ア 第 35 回横浜港カッターレースの開催

主催 横浜港カッターレース実行委員会

開催日 平成 30 年 5 月 20 日

場所 山下公園前面海域及び公園内

参加チーム 203 チーム

(一般 168 チーム、シニア 12 チーム、女子 23 チーム、小学生は中止)

イ みなと祭港湾関連行事の開催

主催 みなと祭行事港湾実行委員会

(ア) 優良海事関係者表彰式

横浜港において永年精励勤務した海事関係者の方々の功績をたたえ、感謝の意を込めて横浜市長より表彰しました。

開催日 平成 30 年 7 月 25 日

場所 大さん橋国際客船ターミナル 大さん橋ホール

受賞者 港湾労働者 41 人、船員 8 人

(イ) 港内見学会

観光船「マリンシャトル」の乗船と港湾施設の見学を行う「小学生のための港内見学会」を 2 日間開催しました。

①開催日 平成 30 年 7 月 27 日

行程 港内見学～出田町ふ頭(輸入青果、冷蔵倉庫の見学)

参加者 85 人

②開催日 平成 30 年 7 月 31 日

行程 港内見学～日産自動車本牧専用ふ頭見学(自動車専用船への車両搬出作業等の見学)

参加者 92 人

ウ 横浜港国際船員スポーツ大会の開催

主催 横浜港国際船員スポーツ大会実行委員会

(ア) 開催日 平成 30 年 7 月 28 日

場所 大黒ふ頭中央公園運動広場

内容 ソフトボール大会

悪天候のため中止

(イ) 開催日 平成 30 年 7 月 17 日、9 月 18 日～20 日

場所 ユナイテッド・シーメンズ・サービス

内容 バスケット、バスケットボールシューティング、卓球、ビリヤード

参加者 8ヶ国 14隻 94人

7 横浜スパークリングトワイライト 2018 の実施

港や海に対する認識を深め、併せて横浜港の観光の振興を図り、地域経済の活性化に資することを目的とした「横浜スパークリングトワイライト 2018」を実行委員会の主催団体の一員として実施しました。

開催日 平成 30 年 7 月 14 日、15 日

場所 山下公園及びその周辺、公園前海上

来場者 63 万人

内容 スパークリング花火、横浜港で活躍する船等によるシップパレード、海難レスキューデモ、御輿等によるパレード、ステージライブ、シーサイドレストラン&バー等

8 横浜港の広報宣伝活動の推進

(1) 各種刊行物の発行

ア 広報誌「よこはま港」の発行

第 133 号 (平成 30 年 4 月 1 日発行) 1,300 部

第 134 号 (平成 30 年 7 月 1 日発行) 1,300 部

第 135 号 (平成 30 年 10 月 1 日発行) 1,300 部

第 136 号 (平成 31 年 1 月 1 日発行) 1,500 部

イ 業務用参考資料の発行

ポートオブヨコハマ 2019-2020 年版 5,000 部

横浜港便覧 2019-2020 年版 5,000 部

横浜港振興協会役員・会員名簿 700 部

ウ 市民向けカレンダー等の制作、販売

横浜港カレンダー 2019 2,500 部

横浜港客船入港カレンダー付ポスター 5,000 部

(2) ポートガイド事業

海外からの横浜港訪問客に対する、港の説明・案内等の通訳、資料の翻訳、外航客船の船客への案内等のサービス提供を行いました。また、横浜港見学会のガイドも行いました。

出勤人数 計 12 人（英語 8 人、中国語 3 人、韓国語 1 人）

出勤件数 計 166 回

9 横浜港振興協会友の会（波止場クラブ）の運営

(1) 友の会会員の募集

広く市民の方々に横浜港を知ってもらうため、友の会会員を引き続き募集しました。

会員総数 72 人（平成 31 年 3 月 31 日現在）

平成 30 年度増減数 2 人減（入会 9 人、退会 11 人）

(2) 友の会会員等向けイベントの実施

友の会会員等を対象とした「タグボート体験乗船会」を 6 回実施しました。

開催日 平成 30 年 10 月 4 日、10 月 11 日、10 月 15 日

各日 10:30～11:45、13:15～14:30

参加者 合計 43 人（会員、総代等）

10 横浜港オリジナル記念品等の制作、販売

協会オリジナルグッズの製作、刊行物の販売をしました。オリジナルグッズは大さん橋や、ベイブリッジを模ったラバーマグネットなど新商品も製作し、区民まつりや各種イベントでも販売しました。

11 協賛・後援事業等

横浜港の振興・発展に寄与する行事について、協賛または後援等を行いました。

(1) 平成 30 年度第 16 代横浜観光親善大使選出事業

（公益財団法人横浜観光コンベンション・ビューロー）

(2) 第 35 回よこはまファミリー写生大会・作品展覧会（横浜市 PTA 連絡協議会）

(3) 第 66 回ザよこはまパレード〈国際仮装行列〉（国際仮装行列実行委員会）

(4) 2018ITU 世界トライアスロンシリーズ横浜大会

（2018 世界トライアスロンシリーズ横浜大会組織委員会）

(5) ベルギーウィークエンド横浜 2018（ベルギーウィークエンド実行委員会）

(6) 第 35 回横浜港カッターレース（横浜港カッターレース実行委員会）

(7) 横浜セントラルタウンフェスティバル“Y159”

（横浜セントラルタウンフェスティバル実行委員会）

(8) GREENROOM FESTIVAL '18（グリーンルームフェスティバル実行委員会）

(9) 平成 30 年「海の月間」行事（「海の月間」横浜地区実行委員会）

(10) 平成 30 年度海洋都市横浜うみ協議会（海洋都市横浜うみ協議会）

(11) 第 50 回横浜港国際船員スポーツ大会（横浜港国際船員スポーツ大会実行委員会）

- (12) 所蔵品展「豪華客船ノルマンディー 大西洋航路最速をめざして」
(代表団体 公益財団法人帆船日本丸記念財団)
- (13) 第 31 回横浜港ボート天国 (横浜港ボート天国推進連絡協議会)
- (14) 横浜スパークリングトワイライト 2018 (横浜スパークリングトワイライト実行委員会)
- (15) 第 7 回薬物乱用防止キャンペーン in 横濱 (薬物乱用防止キャンペーン実行委員会)
- (16) 優良海事関係者表彰式、港内見学会 (みなと祭行事港湾実行委員会)
- (17) Local Green Festival 2018 (Local Green Festival 実行委員会 LGF 事務局)
- (18) STAND UP CLASSIC FESTIVAL 2018 (STAND UP CLASSIC FESTIVAL 実行委員会 SUC 事務局)
- (19) ワールドフェスタ・ヨコハマ 2018 (ワールドフェスタ・ヨコハマ実行委員会)
- (20) 東京湾大感謝祭 2018 (東京湾大感謝祭実行委員会)
- (21) 企画展「絵本でたのしむ 海と船」(公益財団法人帆船日本丸記念財団)
- (22) VIVA! 110de Yokohama<横浜でみんなでお祝いしようブラジル日本移民 110 周年>
(ブラジル日本移民 110 周年を祝う横浜市民の会)
- (23) ヨコハマ絹 FES in 大さん橋 (横浜絹フェスティバル実行委員会)
- (24) 横濱キャンドルカフェ 2018 (横濱キャンドルカフェサポーターズクラブ)
- (25) 企画展「横濱船渠 ドック物語」(代表団体 公益財団法人帆船日本丸記念財団)
- (26) 第 58 回「ジャパンインターナショナルボートショー2019」
(一般社団法人日本マリン事業協会)
- (27) 第 29 回子ども会書道展 (横浜市子ども会連絡協議会)
- (28) 横浜みなと未来ぴあ (フリーペーパー) 刊行 (ぴあ㈱)

12 横浜港の施設の管理運営等

(1) 大さん橋国際客船ターミナル

指定管理者として大さん橋ターミナルの管理運営をしました。来場者は 3,354,104 人となり、目標の 300 万人を達成することができました。

また、以下の実績のとおり、客船の受入れを始めとしたインナーハーバーの更なる活力と賑わいの創出を実現し、安心安全な施設づくりのために各訓練、講習、研修会なども実施しました。

ア 客船の入出港に関する主な管理運営業務

入港隻数 (暦年) 168 隻 (うち大黒ふ頭 11 隻、山下ふ頭 3 隻)

イ ターミナルの来場者数

3,354,104 人

ウ ターミナルの駐車場利用台数

160,259 台

エ 大さん橋ホールの営業稼働日数

244 日間

オ 撮影の利用件数

静止画 1,216 件、動画 140 件

カ 主な自主事業

- 見送りキャンペーン (162回/年)
- 護衛艦いずも一般公開 (6月1日～2日)
- 第8回大さん橋マルシェ (6月16日～17日)
- チャレンジランフェスタ (6月30日)
- スパークリングトワイライト花火鑑賞会 (7月14日～15日)
- やさいの日マルシェ (8月31日)
- 南極観測船しらせ一般公開 (9月1日～2日)
- 第9回大さん橋マルシェ (9月23日～24日)
- 第10回大さん橋マルシェ (10月20日～21日)
- 第11回大さん橋マルシェ (11月23日～24日)
- ヨコハマベイフィルハーモニー第九コンサート (12月16日)
- 年末カウントダウンイベント (12月31日)
- 年越し日の出イベント (1月1日)
- 凧揚げチャレンジ (2月24日)
- 海桜の設置 (3月13日～3月31日)

(2) 大さん橋岸壁の安全管理業務

大さん橋ふ頭は外航客船が入出港を行う際に SOLAS 条約 (海上人命安全条約) の対象となる岸壁であるため、埠頭保安全管理者 (横浜市港湾局) が定める規定に基づき、24 時間 365 日、岸壁に出入りする車両と人の管理を実施しました。

(3) 配船業務及び客船等岸壁受入業務

横浜市から委託を受け、客船等の配船調整業務や大さん橋ふ頭など客船等が着く岸壁の運營業務を実施しました。

(4) 横浜八景島

ア 八景島マリーナの運営事業

八景島マリーナの運營業務を横浜市から受託し、安全かつ良好な状態で管理しました。また、大学ヨット部関連事業のほか、市民を対象にしたレンタルヨット及びヨットスクール事業を実施しました。

(ア) 通年事業としてマリーナの管理運営を実施

毎日オープン (年末年始を除く)

業務内容：クラブハウスの運営、マリーナ海上業務、施設の点検・補修業務、各種連絡調整業務等

(イ) 大学ヨット部活動

大学数	出艇日数	出艇数
12大学	157日	5,310艇

(ウ) レンタルヨット

区分	会員人数	利用回数
シーズンレンタル会員	8人	122回
レンタル会員	70人	40回

(エ) ヨットスクール

区分	開催日数	受講者数
技術習得コース	22日	延べ107人

イ 指定管理業務の一部の実施

八景島指定管理業務の一部を受託し、指定管理者とともにイベントを開催・運営及び島内の管理を実施しました。

(ア) 体験教室 IN 八景島

開催日 土日祝日及びゴールデンウィーク、夏休み他 計 105 日

参加者 1,137 人

(イ) 八景島利用実績

区分	利用回数	利用者数
来島者数	—	3,557,500 人
イベント広場の貸出	105 日	26,171 人
西浜さん橋	2,937 回	42,753 人
公共さん橋	2,915 回	66,829 人

ウ 八景島駐車場の運営事業

周辺の交通対策を行う中、八景島駐車場の管理運営を実施しました。

利用実績

区分	実績
B駐車場	37,974台
C駐車場	37,346台
D駐車場	808台
合計	76,128台

平成 30 年度 新規入会会員一覧表

店社名	口数
株式会社 MSC クルーズジャパン	1 口
日発運輸株式会社	1 口
横浜シティ・エア・ターミナル株式会社	1 口
株式会社セノン神奈川支社	1 口
株式会社イクス	2 口
グローバルキャビン横浜中華街 (株式会社共立メンテナンス)	1 口
株式会社日本工業所	1 口
商船三井客船株式会社	1 口
ワールドトランスポート株式会社	1 口
日本水路図誌株式会社	1 口
株式会社グローバルプリント	1 口
CSA マリンサーベヤーズ&アジャスターズ株式会社	1 口

平成 30 年度 口数変更会員一覧表

店社名	口数	新口数
郵船コーディアルサービス株式会社	3 口	→ 1 口

平成 30 年度 退会会員一覧表

店社名	口数
株式会社地域開発研究所	1 口
株式会社タカオカ	1 口
株式会社 MOL JAPAN 横浜支店	2 口
株式会社あんざい	1 口
株式会社 HiLife	1 口
富士ゼロックス神奈川株式会社	2 口
株式会社マリンツーリスト	1 口
横浜マリンタワー	1 口